

さんりく基金

# 調査研究事業 研究成果報告会

さんりく基金では、三陸地域の復興の進展や地域振興、地域が抱える社会的課題の解決を目的に大学・研究機関及び地域の事業者による知的資源を活かした調査研究活動への助成を行っています。令和5年度は、マツモ種苗生産の実証実験、ヤマブドウの全活用検討や久慈琥珀抽出物の機能性食品利用まで幅広い分野の調査研究活動に助成を行いました。当日は、研究内容や成果を担当者が分かり易くお伝えします。民間企業、県民・市民の皆さま、どなたでも参加いただけます。（事前申込制・参加費無料）

## 発表内容

### 【海洋環境／実態調査】

宮古湾における放流サケ稚魚と捕食者であるサバ類の遭遇実態の解明

（国立研究開発法人水産研究・教育機構  
水産技術研究所 環境・応用部門 主任研究員 佐々木系）

### 【化石・天然有機化合物/機能分析】

久慈産琥珀抽出物の化粧品開発の成功を踏まえた機能性表示食品利用への挑戦

（岩手大学 教授 木村賢一）

### 【水産物／生産技術試験】

褐藻マツモの人工種苗生産に関する実証試験  
（北里大学海洋生命科学部、理研食品株式会社）

### 【水産物／免疫反応解明】

ホヤの耐病性育種を目指した被嚢軟化症に対する免疫反応の解明

（岩手医科大学医学部 病理学講座 助教 中村啓哉）

### 【農産物／機能性解明】

ヤマブドウの未利用部位「梗」の機能性解明による全活用の実現

（岩手生物工学研究センター、株式会社佐幸本店）

### 【水産養殖／生産技術開発】

サーモン類の海面養殖に適した新たな種苗生産技術の開発

（国立研究開発法人水産研究・教育機構  
水産技術研究所 養殖部門 主任研究員 今井智）

## 開催日・場所

開催日：令和6年12月11日（水）

時間：13:30～16:10（予定）

場所：宮古地区合同庁舎  
（3階大会議室）

定員：45名

～お車でのお越しの方へ～  
会場敷地内の駐車場には限りがあるため、近隣のコインパーキング等をお使いください。

主催・問合せ先

公益財団法人さんりく基金 TEL:019-629-5212 Email:jyosei@sanriku-fund.jp

## 申込方法

参加希望の方は、E-mailでお申し込みください。宛先や申込に必要な情報は以下の通りです。

【宛先】jyosei@sanriku-fund.jp

【件名】成果報告会申込み（申込者氏名・代表者）

【本文】氏名（カナ）

所属先

電話番号

※代表者がまとめて申込み場合は、全ての方の氏名を記載してください。また、所属先や連絡先が異なる場合はそれぞれ全ての項目をお知らせください。

申込期日：令和6年12月9日（月）17:00迄